

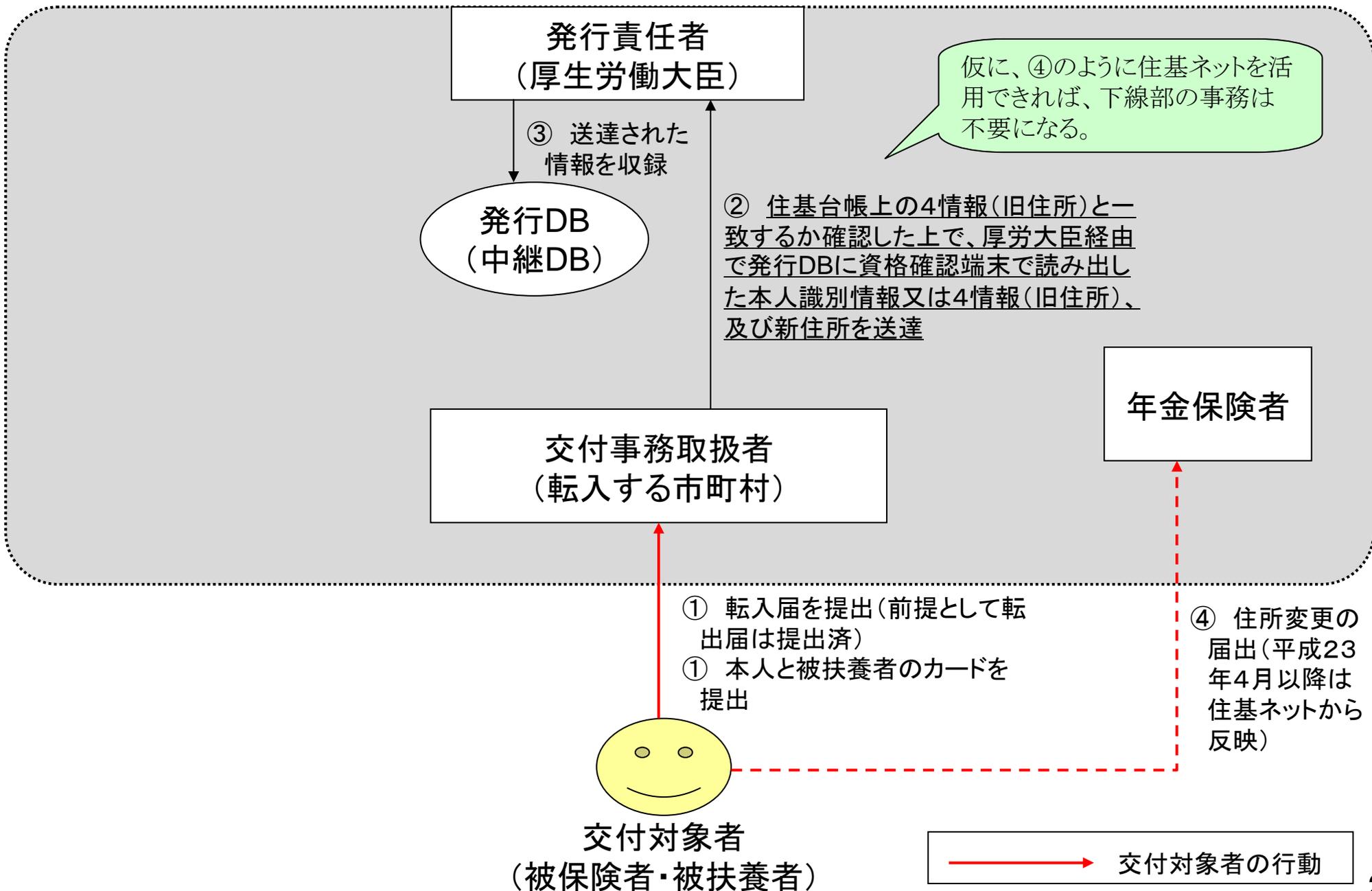
(1) 属性・保険者変更時の手続・カード使用方法

- ① 住所変更
- ② 氏名変更
- ③ 医療保険者変更
 - ③－1 旧保険者の発行する資格喪失通知を用いる案
 - ③－2 本人に本人識別情報を通知しておき、これを利用して手続を行う案
 - ③－3 券面にカードの発行年月日時分秒を記載し、これと氏名・生年月日を組み合わせ用い、手続を行う案
 - ③－4 基本4情報（住民票上の4情報）で手続を行う案
- ④ 介護保険者変更

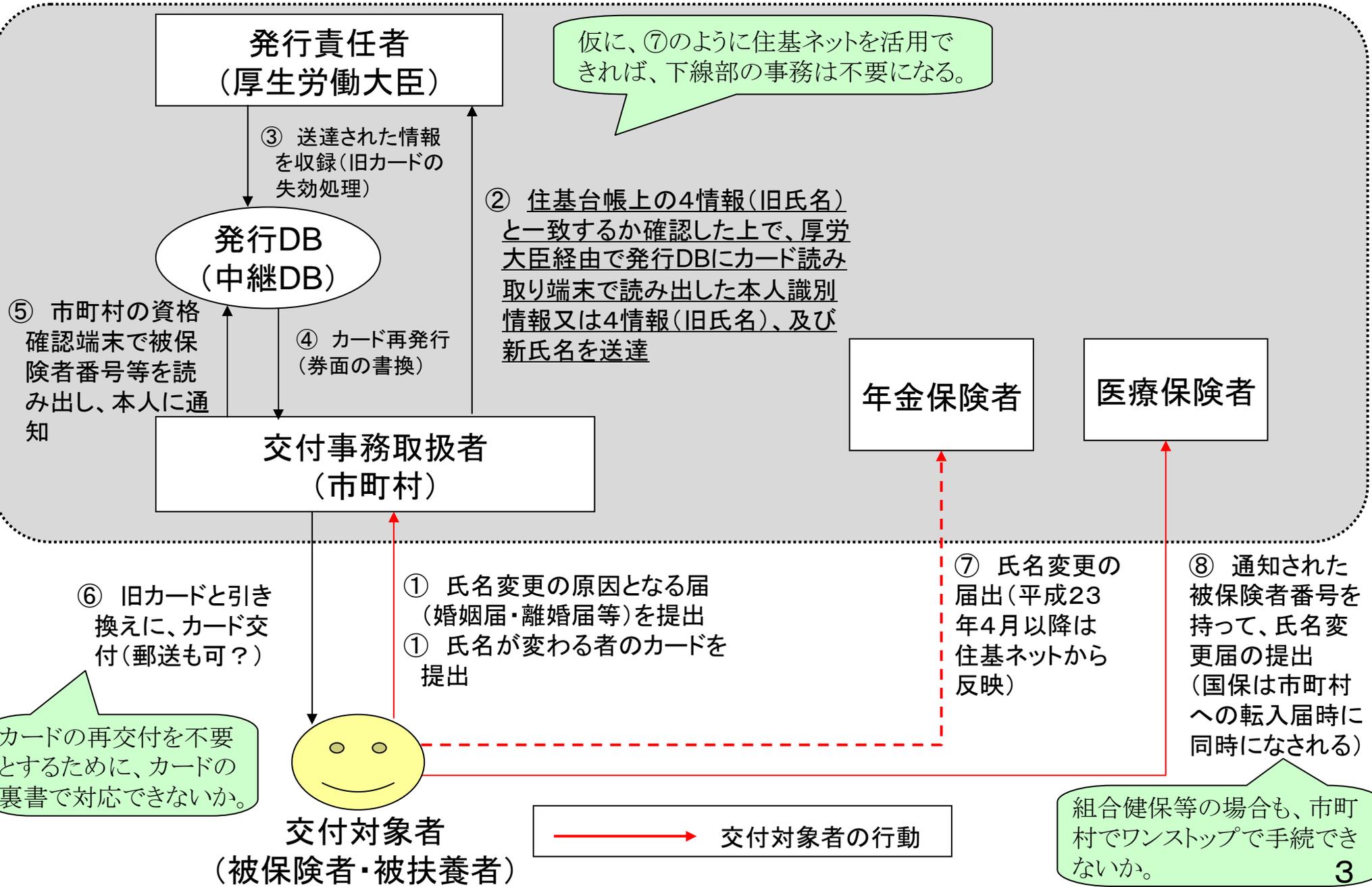
(2) カード紛失時、破損時の対応方法

(3) カードの更新方法

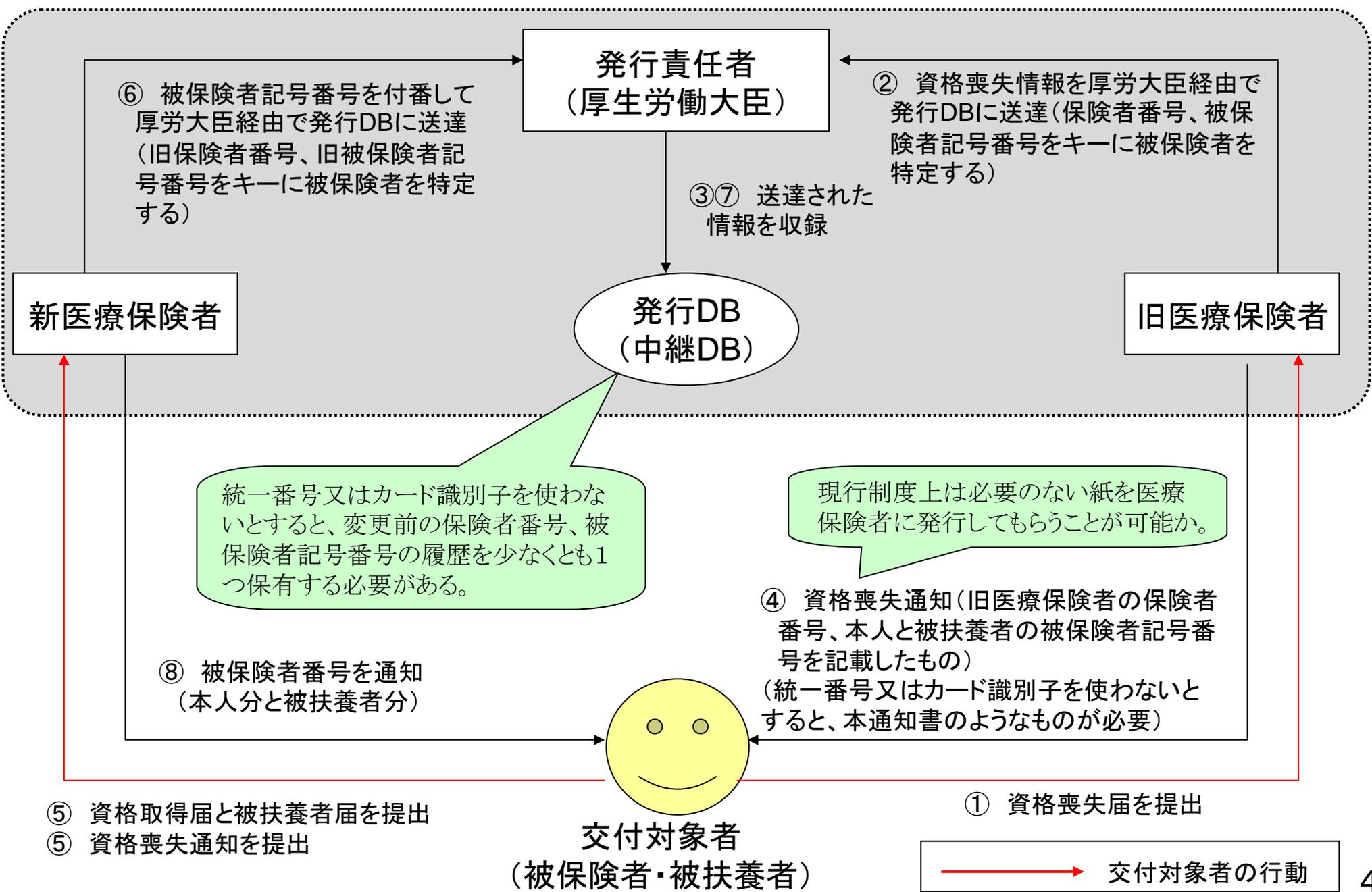
(1) ① 住所変更



(1) ② 氏名変更

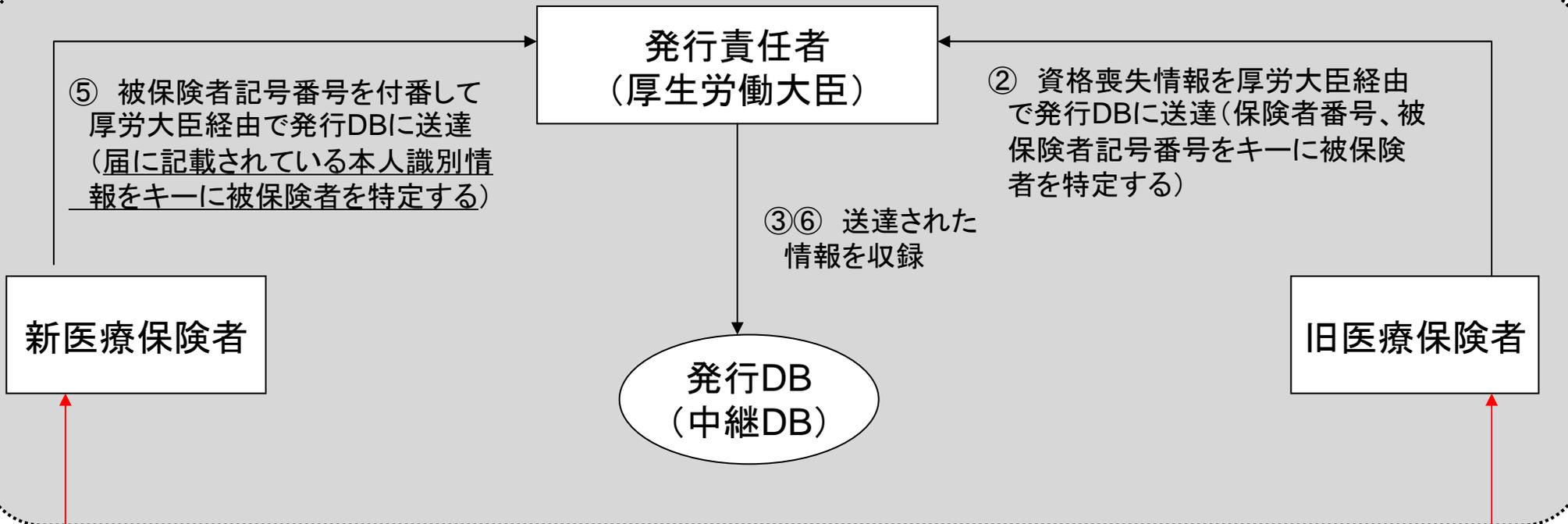


(1) ③-1 医療保険者変更 旧保険者の発行する資格喪失通知を用いる案



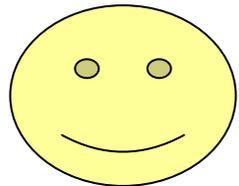
(1) ③-2 医療保険者変更

本人に本人識別情報を通知しておき、これを利用して手続を行う案



医療保険者が本人識別情報を知ることが適切か。

(課題)
人が知覚できる形式で本人識別情報を用いる場合には、個人情報のマッチングに使用されるおそれがある。



交付対象者
(被保険者・被扶養者)

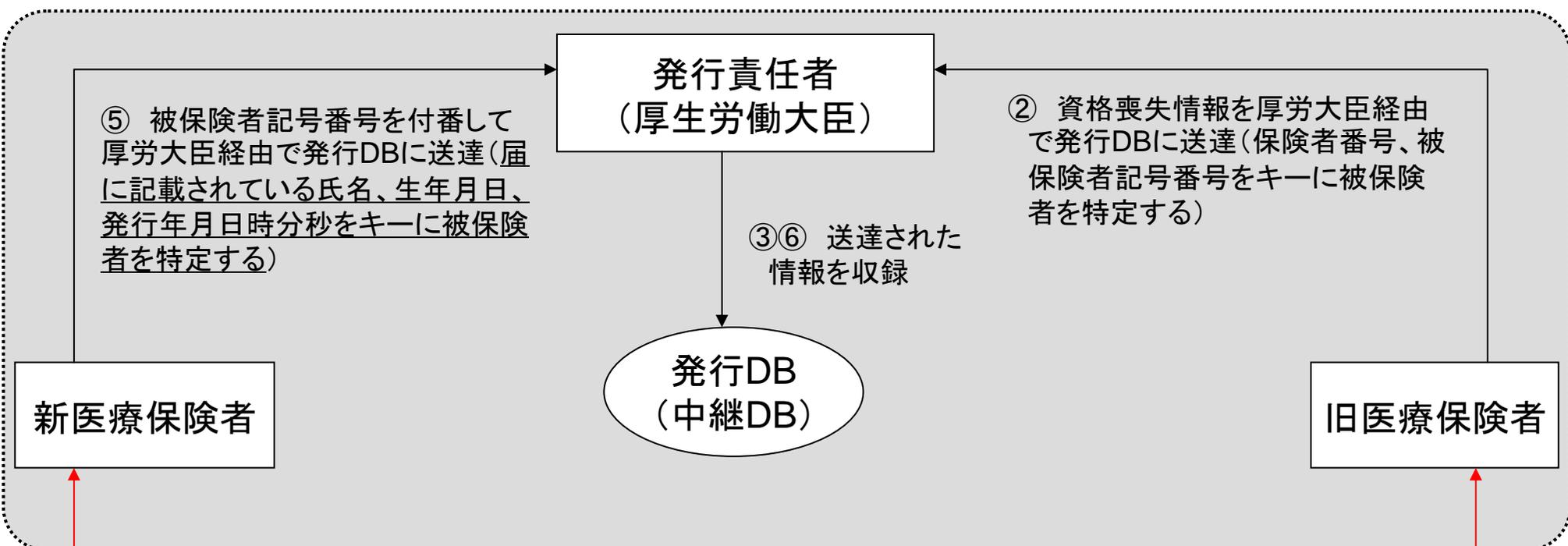
① 資格喪失届を提出

→ 交付対象者の行動

④ 資格取得届と被扶養者届(新たに本人識別情報の入力欄を設け、転記する)を提出。

(1) ③-3 医療保険者変更

券面に発行年月日時分秒を記載し、氏名、生年月日と組み合わせ用い、手続を行う案



⑤ 被保険者記号番号を付番して厚労大臣経由で発行DBに送達(届に記載されている氏名、生年月日、発行年月日時分秒をキーに被保険者を特定する)

② 資格喪失情報を厚労大臣経由で発行DBに送達(保険者番号、被保険者記号番号をキーに被保険者を特定する)

③⑥ 送達された情報を収録

新医療保険者

旧医療保険者

発行DB
(中継DB)

発行責任者
(厚生労働大臣)



交付対象者
(被保険者・被扶養者)

(課題)
タイムスタンプを氏名、生年月日と組み合わせ用いれば、本人識別情報とほぼ同じ効果を持つため、同様に個人情報のマッチングに使用されるとの懸念がある。

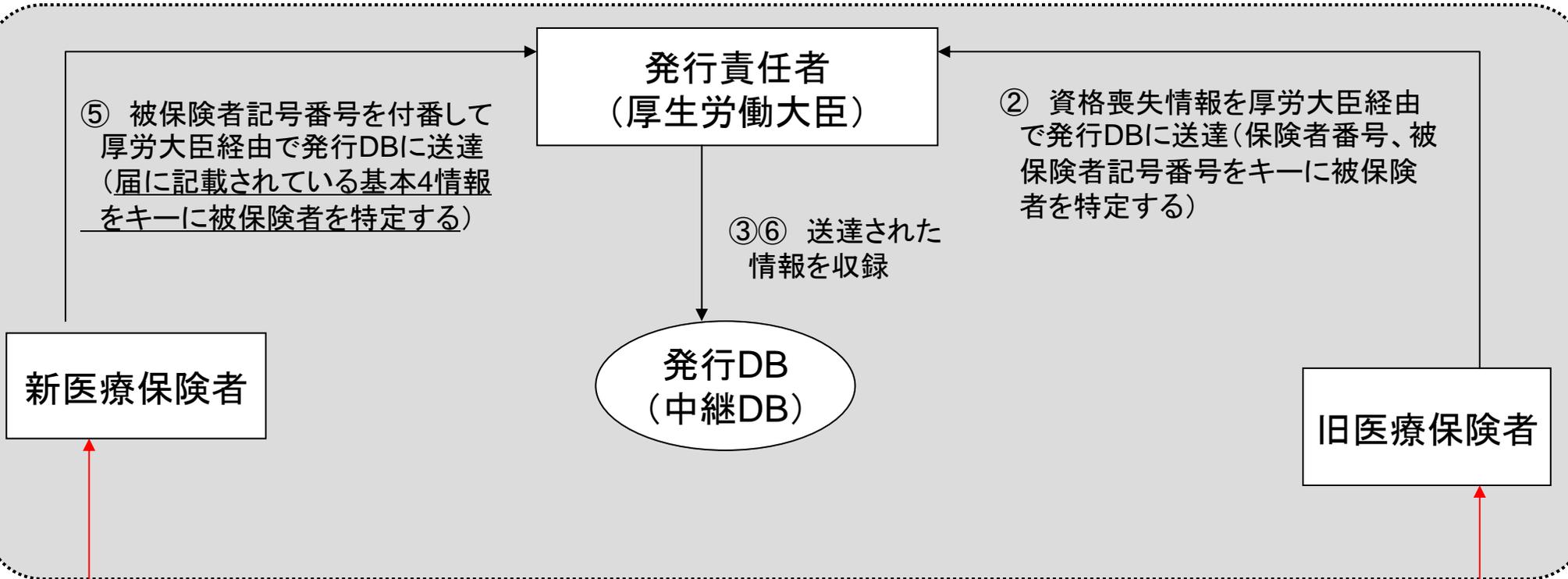
④ 資格取得届と被扶養者届(発行年月日時分秒をカードから転記)を提出。

① 資格喪失届を提出

→ 交付対象者の行動

(1) ③-4 医療保険者変更

基本4情報（住民票上の4情報）で手続を行う案



現行の被扶養者届には、配偶者である被扶養者以外の被扶養者には住所記載欄がない。

(課題)
基本4情報で個人を特定する場合、外字の使い方や同姓同名同住所の例などが原因で不突合が起きる可能性がある。



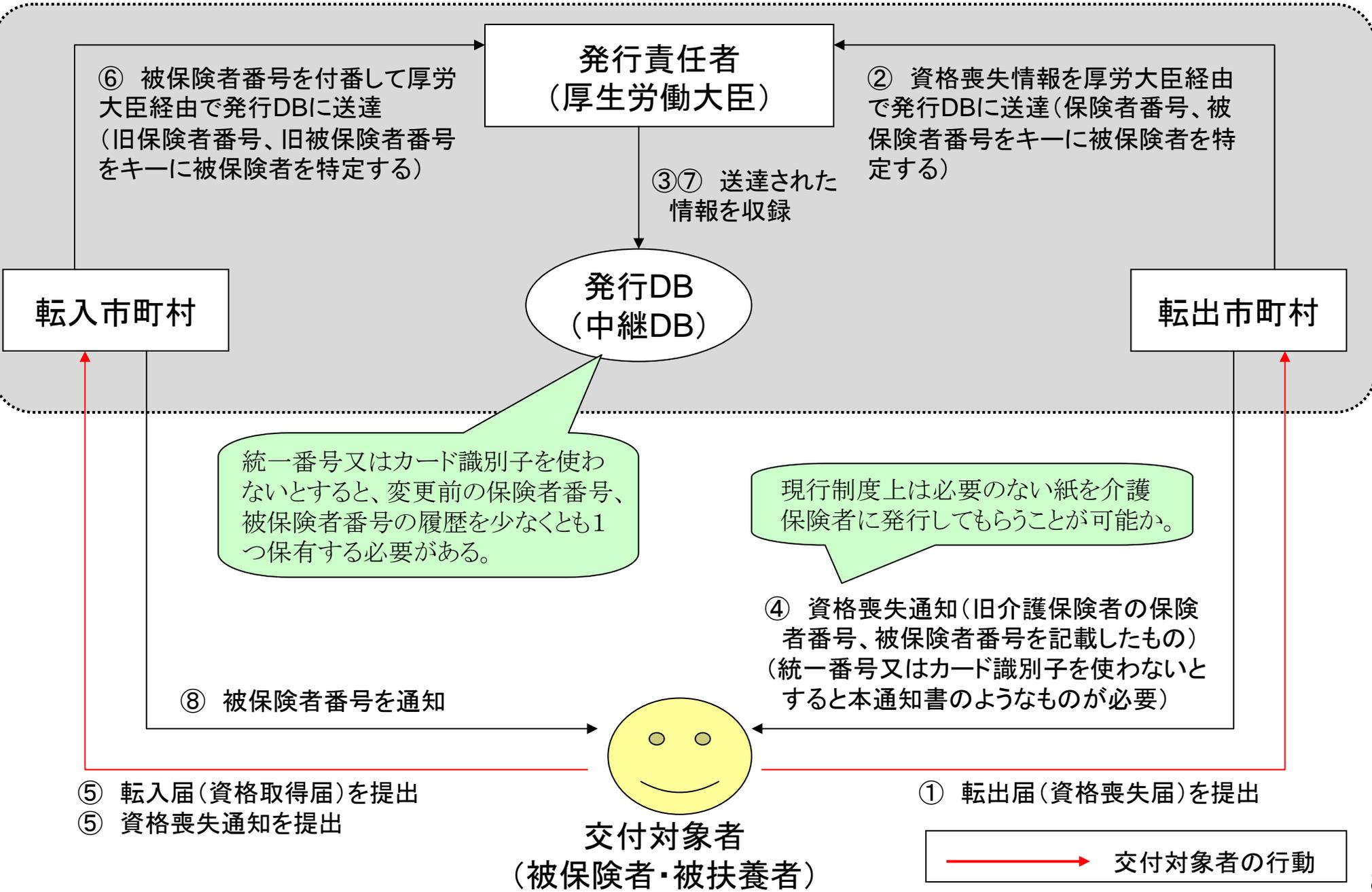
交付対象者
(被保険者・被扶養者)

① 資格喪失届を提出

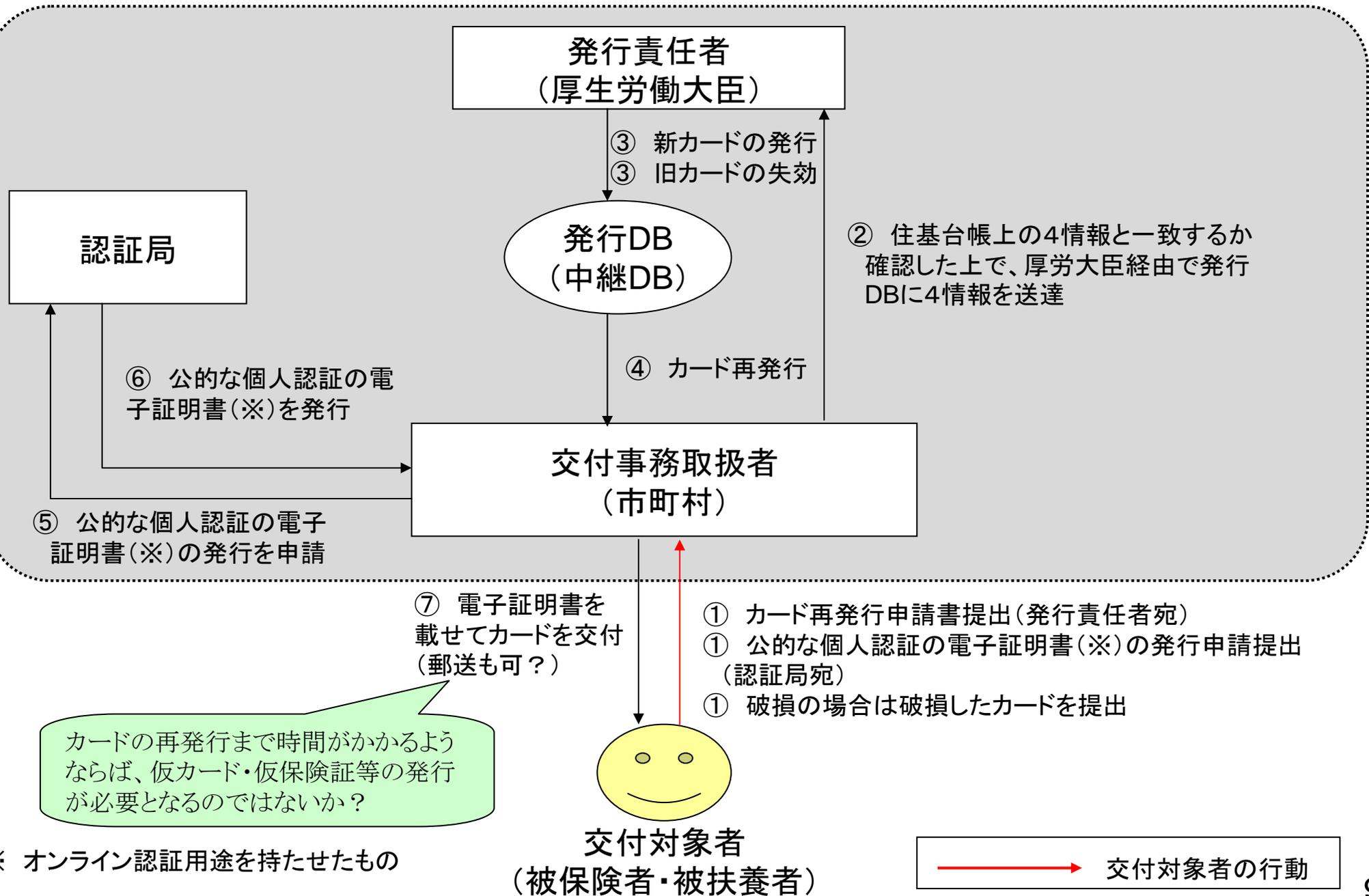
→ 交付対象者の行動

④ 資格取得届と被扶養者届(住民票上の基本4情報を記述を必須とする)を提出

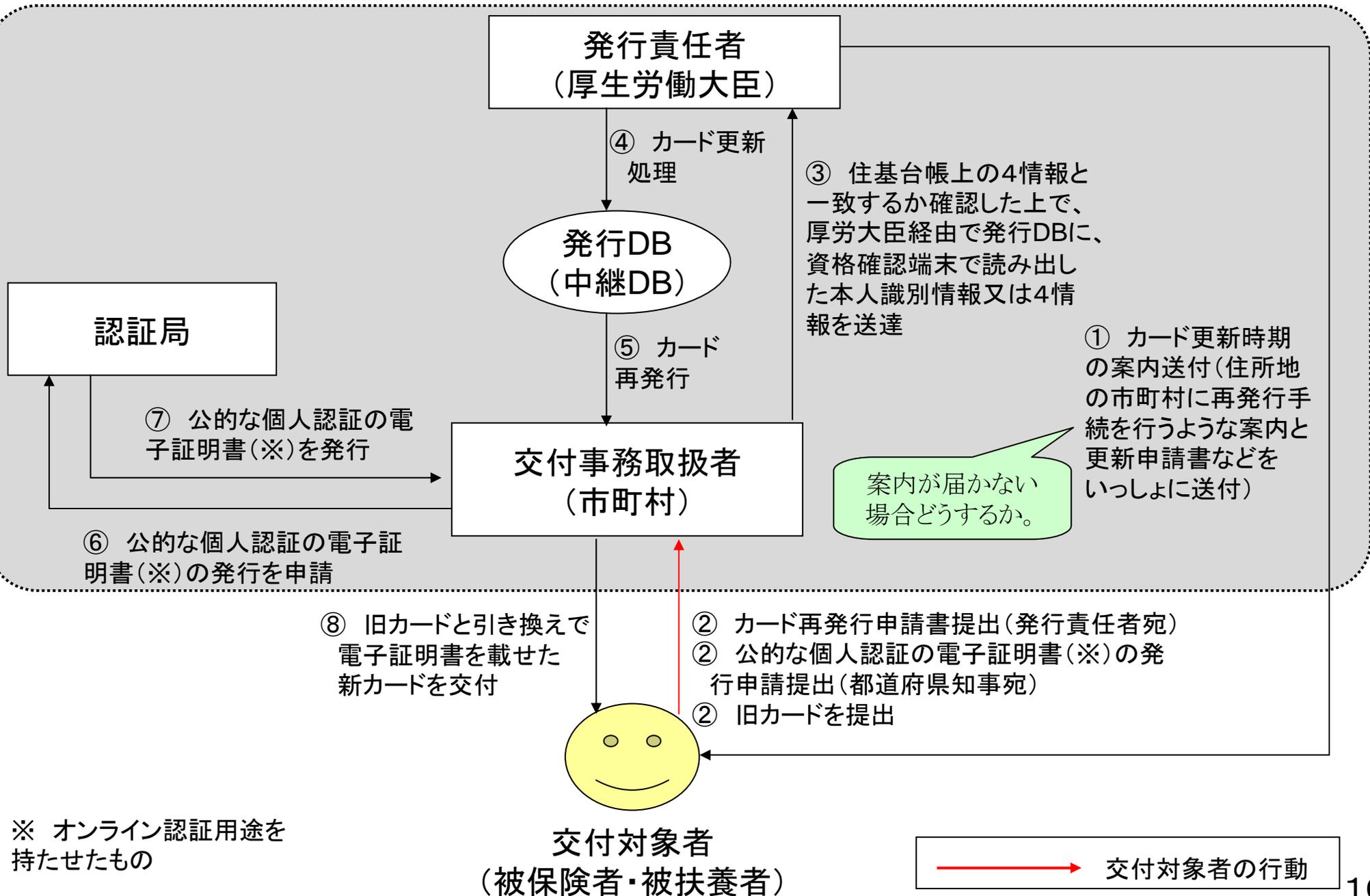
(1) ④ 介護保険者変更



(2) カード紛失時・破損時の対応方法



(3) カードの更新



※ オンライン認証用途を持たせたもの

→ 交付対象者の行動